

## 【取組の目的】

次世代技術者にとって必須な技術

**AI**（人工知能）

**IoT**（モノのインターネット）

**RT**（ロボット技術）

を**AIRテクノロジー**と命名

右の**Step1～3**により学科・専門によらず空気のごとく当たり前の知識・技術として浸透・定着

新たな街づくりの方向性

**長岡版イノベーション**を支える

- ◆ 次世代テクノロジー人材の育成
- ◆ 地元地域のスマート産業の創出

## 【取組内容・実施体制（別紙参照）】

### AIR Tech エンジニアの育成



### Step1 低学年

全学科共通  
**AIR Tech** リテラシー教育

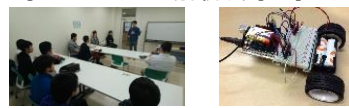
- ◆ AIワークステーション40台導入
- ◆ IoT実習教材40台導入



### Step2 中学年

プレラボ制度による  
**自主的 AIR Tech 実践活動**

- ◆ ロールモデルとなるOBや卓越した学生達をTAに起用
- ◆ センサ・アクチュエータの実装法、数理科学に基づくデータ解析法等を学ぶプレラボ



### Step3 高学年

分野横断型社会実装プロジェクト  
**AIR Tech ラボ**

- ◆ 複数学科での分野横断
- ◆ 異分野の教員 & 学生チーム



## 教育アプローチ



分野横断型教育・研究推進プラットフォーム

### プレラボ制度



低中学年の自主的  
研究活動を支援

### JSCOOP（ジェイスクープ）



- ◆ 課題抽出力・解決力を育む地域人材育成プログラム
- ◆ 地域企業が抱える課題を抽出

## 卓越した学生達がリード



ロボカップ世界大会  
ワールドチャンピオン  
(H29.7)

- ◆ ロボカップ世界大会 2016, 2017連続優勝
- ◆ 全国高専ロボコン2017 史上初めて2チーム出場
- ◆ 全国高専プログラミングコンテスト2017 特別賞・NICT賞

工程表	H30前期	H30後期	H31以降
Step1	WGによる新カリキュラムの検討	プログラム実施	
	必要機器の検討	機器導入・稼働	
Step2	プレラボ制度による自主的実践活動試行		本格実施
Step3	プロジェクト運用体制検討		プロジェクト実施
	学外機関との連携調整		

## 学外機関との連携

### フラー株式会社



多数在籍する本校OBをロールモデルとする協働教育の実践

### NaDeC構想



長岡技術科学大  
長岡造形大  
長岡大

3大学1高専の協働による  
人材育成、産業活性化構想

## 長岡市IoT推進ラボ



IoT Acceleration  
Nagaoka city Lab

経産省選定の地方版IoT推進ラボが  
市内全産業へのAI・IoTの導入支援

## 【成果指標】

- AI, IoTリテラシー教育の受講者数：0名（H29）→ 80名（H30）
- AI, IoTリテラシー教育の教材開発数：0件（H29）→ 2件（H30）
- 地域企業の課題を対象とする分野横断型社会実装プロジェクト数：2件（H29）→ 5件（H30）

## 【第4期中期目標期間への展開（見込み）】

平成29年度 KOSEN4.0 イニシアティブ採択事業「長岡リジュベネーションに立脚したNaDeCアントレプレナーの育成」、「地域産業の国際展開を牽引するヴァンガード・エンジニア育成プログラム」と有機的に融合した事業に発展させ、**地元地域のスマート産業を“創出・加速・世界展開”する次世代人材育成のプラットフォームを構築**する。